

令和3年度 第2回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議録(概要)

- 1 日時 令和4年3月18日(金) 午後3時~4時15分
- 2 場所 生涯学習センター 第一教室
- 3 出席者 長田委員、井藤委員、川井委員、岡本委員、長富委員、田村委員
鈴木委員、住吉委員、山本委員、押田委員(社会教育主事)
(練馬区)文化・生涯学習課長
(事務局)生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 中島委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 挨拶
 - (2) 議題
令和3年度事業結果報告について
令和3年度施設利用状況について
令和4年度事業計画について
 - (3) その他
- 7 配布資料
 - 資料1 令和3年度事業結果報告(令和4年1月実施分まで)
 - 資料2 令和3年度施設利用実績(令和4年1月分まで)1
 - 資料3 利用者アンケート結果
 - 資料4 令和4年度事業計画(案)
- 8 会議の概要
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
令和3年度事業結果報告について
所長から資料1に基づき説明(内容省略)
令和3年度施設利用状況について
所長から資料2に基づき説明(内容省略)

利用者アンケート結果

所長から資料3に基づき説明（内容省略）

- <座長> アンケートで「悪い」というのは、どのような内容なのですか。
- <所長> 鍵の閉め方がわかりにくい、空調の異音がするといった設備面ですが、老朽化に伴う関係です。職員の対応では、受付に時間がかかっている等の意見がありました。
- <座長> 「悪い」という答えも、中には無茶な意見を言う方もいますが、一人ぐらいしかいないとするのではなく、理解することも大事です。ほとんどの方が「良い」としていることは評価できると思います。
- <座長> 本日は、せっかく皆様がお集まりなので、是非ともお一方ずつ意見をいただければと思います。
- <委員> 主に分館を利用しています。2点質問があります。1点目は、分館の利用者数についてです。単独の部屋利用以外に、和室（大+小）会議室（3+4+5）のように、広い部屋を予約している規模の大きなイベント利用の傾向をつかんで、利用促進につなげられれば良いと思います。2点目は、公共施設予約システムの不具合についてです。昨日、パソコンでは予約状況が4月分までしか見られなかったのですが、今日は問題なく確認できました。これは使用機器の問題なのか、システム上の不具合なのか確認させてください。また、部屋の予約ももう少し先までできると良いです。3か月では短いと感じるので、ご検討いただけると幸いです。
- <所長> 広い部屋を予約している団体の傾向把握については、次回以降工夫していきたいと思います。公共施設予約システムの不具合については、今後そうしたことが起きた際には、お問い合わせください。先の予約については、ご意見としては承りますが、制度的な問題なので、今後の課題とさせていただければと思います。
- <座長> 調理室と保育室の空きがあるようなので、会議に使いたいです。今までこれらの部屋は使えないと思っていましたが、工夫して使えれば良いです。それは事務局に相談しても良いし、事務局からお知らせいただくのも良いと思います。

- <委員> 二年間お世話になり、ありがとうございました。コロナの状況もあり、運営の力になっていないのが少し心残りです。そんな中で、分館の方々と知り合えたのが良かったと思います。施設面ですが、各教室に掃除機が置いてありますが、使用されているところを見たことがありません。
- <委員> 先日、舞台発表事業でホールを借りました。平日の夜間は空きがあるということで、18時から21時30分(コロナの状況では21時までの制限あり)で借りたのですが、午後の時間帯を借りずに18時から19時の間で準備するのは時間的に大変でした。ホールは時間単位では借りられませんが、30分でも余分に取れば使いやすいと思います。
- <所長> ホールは他の部屋と違って、時間単位の貸し出しは行っていないのです。
- <委員> 感染症も落ち着き、活動が始まったことを資料で確認しました。青少年館も順調に活動を始めているところです。先ほど出た一時間単位の利用の話は、青少年館でもよく要望として挙がってきます。2か月前までは午前・午後・夜間の単位でしか予約できず、ひと月前を切って初めて1時間単位で予約可能になります。初めから1時間単位で取れば無駄な時間を取ることがないという意見も聞きます。今後は皆さんと話し合いながら行政の中でも検討できればと思っています。
- <委員> 以前は月に1度こちらのホールで講義をしていましたが、最近は無沙汰しております。現在の職場は芝公園にありますが、内幸町のプレスセンター内の日本記者クラブで月に1度、外務省局長による講演会を開催しています。約2年前から会場のオンライン予約が可能になり、空き状況が1年先までわかるようになってきました。会員向けのため、少し融通が利き、講師の予定が不明であっても複数の日程で仮予約をし、都合の良い方を選ぶことができます。ただ、区民対象であれば、制度を厳格にしないかと思っています。また、コロナで私の組織でも財政面で少し厳しくなりました。これまでは一般社団法人の理事会を年2回開くのに会議室を1回4~5万円かけて借りていました。それを、毎月の例会の前に入れたところ、年間約9万円抑えられました。区民の皆さんも、使いやすいような形で上手に組み合わせができればと思います。
- <座長> 舞台の団体や、もの作りの団体、様々な目的の団体がセンターを利用しています。皆さんが上手に工夫しながら利用できればと考えています。

<委員> このような綿密な資料を作っていただきありがとうございます。私は文化団体協議会の活動を中心にしていますが、特に不便は感じておりません。18 団体が様々な利用をしており、会場の使い方や時間も異なります。私どもは、春と秋の区民文化祭が主な活動です。例えば琴・三絃・尺八の団体が終了時間ぎりぎりまでかかる場合もあります。そのため、我々も終了時刻にはきちんと終わるようにプログラムを組むようにしています。あらゆることを生涯学習センターの職員の方に準備していただき、大変感謝しています。私たちはホールを主に使っていますが、この2年間はコロナのことで苦労しました。区報には、区長の「文化芸術に重きを置かなくてはならない」という話が載っており、非常に心強いです。

<委員> 生涯学習センターが公民館だった時代からこの会議に参加しています。当時は年2回、2泊3日の宿泊で行っていたので、隔世の感があります。当時の催し物は、民踊等の和物が中心でした。

<座長> 公民館は、以前は教育委員会に属していて、23区最後の公民館でした。社会教育の分野から生涯学習へと移ってきたので、我々は区民のための生涯学習ということで、幅広く動けるようになったのです。現区長は、文化・生涯学習に力を入れてくれています。福祉だけではなく、人間には文化がないと心にうるおいが生まれないということです。福祉や病院の問題を解決し、最後には文化が大事だということになり、我々は心強く思っています。

<委員> 自分の会では、コロナがあるということで出席しない人も多くいます。こうした資料は、ペーパーレスにしてインターネット上で見られるようにしてはいかがでしょうか。東京オリンピックのボランティアでは、一切資料は配布されず、会の当日に参考資料が配られるといった感じでした。タブレットなら資料は拡大して見ることができます。紙の資料は印刷の手間もかかります。

<座長> パソコン等、対応する機器をお持ちでない方もいるでしょうが、時代としてだんだんそういった方法も考えていってもよいかと思います。

<副座長> 石神井地区の参加者は多く、大泉地区は少ないようです。区の拠点として生涯学習の位置付けを考えたとき、センターの所在地がここにあるから参加者が多いのは当たり前だという考えではなく、区全体の網羅性を考えたときに、参加者が少ない地域では、どうしたら増やせるかということを中心にセンターとして考えることが必要ではないかと思います。こうしたデータを見て、色々な

ことが考えられます。これでよいと考えるか、大泉地区の参加者は少ないから、何か考えた方がよいとするか。皆さんの意見を聞きながら考えていきたいと思います。こうした生のデータは検討するときに非常に大事なものになります。

<座長> 地区区民館のような、使い勝手の良い施設もありますが、求心的な役割を持つのは、生涯学習センターであるのではないのでしょうか。普通のお稽古をするだけでなく、ここに来てもらって、ここから発信し、活性化させていくような方向も考えていくべきではないのでしょうか。

令和4年度事業計画について

所長から資料3に基づき説明（内容省略）

その他

<座長> その他、何かありますでしょうか。

<副座長>本日は、「予約」を一例に、様々な意見が出てきたのではないかと思います。私は篆刻をやっているので、懇談会の「懇」という字にはどんな意味があるか考えてみました。下の方に「心」という字があります。上の部分は、イノシシが牙で土を掘り返している様子を示しています。土を耕すことによって作物が作られます。「心」は人の心に深く入っていきます。そういう意味でも、懇談会では皆さんの意見が深く心に入っていくのです。提案ですが、ひとつテーマを作ってそれについて議論するのはいかがでしょうか。今回は部屋の予約でしたが、例えば次回はエリアの網羅性など、センターでテーマを定めて話すというのもよいかと思います。過去の事業報告や来年度の事業予定も扱いつつ、生涯学習というものを考える上での共通テーマや、センターで色々考えていること、そういったものを一つ挙げて、委員で意見を出し合うと議論がより深まるのではないのでしょうか。

<座長> 一つのテーマを定めてみんなで話し合う会を入れるなど、懇談会を3回制にしても良いですね。分館や向山庭園の利用者の声も聴いてみたいと思います。

<副座長>昔は2泊3日で行っていたとは、いい時代もあったのですね。

<座長> 施設見学をしていた時もありました。今も「あの施設ではこういったことをやっている」等ということを話し合っても良いと思います。

<副座長>先日、6月のサークル文化祭に向けた打ち合わせがありました。その中で「我がグループは若い」という意見がありました。みんな高齢なのですが、何か打ち込んでいる人は若いんですね。自分では一生懸命やっているのが気がつきませんでした。これは素晴らしいことです。区民をこうした中に巻き込まなくてはならない。それにはどうしたらよいか、もっとアイデアを出していかななくては。生涯学習センターも、情報を出して終わるのではなく、相手にうっとうしいと思われるくらい、発信できれば良いと思いました。

<座長> 65歳、70歳となれば高齢者ですが、我々は80、90代、中には95歳の人も活動をしています。今後も活動を続けていきます。

<所長> 次回は8月26日（金）となります。どうぞよろしくお願いいたします。